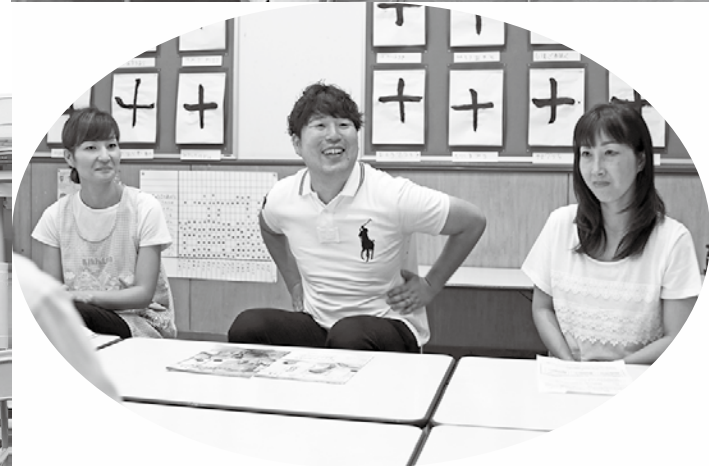


『おたがいさま』という『みんなの思い』で子育て中の職員を応援しています。

働くお父さん・お母さんを応援する場所であるからこそ、働くお母さんの大変さを理解した職場づくりを心がけなくては...という思いがあります。

ただ、僕が園長になる前、僕の母や祖母が園長をしていた時代から自然とそれは取り組まれてきていました。『みんな通ってきた道だから...』と、子育て真っ只中の職員たちに、そっと手を差し伸べられる先輩がいるから、またそれが次につながっているんだと思います。



家庭が充実していないと、仕事がおろそかになってしまう

中村委員長(以下敬称略) 開地保育園は、山梨県がPRする『やまなし子宝モデル企業』として紹介されています。

職員が皆さんが子育てをしながら安心して働き続けられる職場づくりに積極的に取り組んだきっかけは何でしょうか。

亀澤さん(以下敬称略) 僕は、家庭が一番大切だと思っています。家庭が充実していないと、仕事がおろそかになってしまいます。自分の子どものそばにいてじっくりと育児ができる期間は限られていますし、職員の皆さんにはその期間を大切にしてもらいたいという思いがきっかけです。

そのため、職員の子どもが熱を出したらすぐに帰宅できたり、子どもの学校行事を優先したりできるような体制を整えています。



今年の男女共同参画特集号『はばたき』は、市内において子育て支援や働きやすい職場づくりに積極的に取り組む事業所の1つである開地保育園にスポットを当て、亀澤正隆園長先生にお話を伺うとともに、園の職員である國見典子さんと保護者会代表の中村 歩さんにお話を伺いました。



國見 典子 さん
三吉地域在住

開地保育園子育て支援センター勤務。結婚を機に退職、6年後に復職。5歳と小学1年生のお子さんを持つ。



亀澤 正隆 さん
三吉地域在住

開地保育園園長を務める。理学療法士としての経験を活かし開地保育園隣にデイサービス「いろは」を運営する。1歳と5歳のお子さんを持つ。



中村 歩 さん
三吉地域在住

保護者会会長。田舎で子どもを育てたいという希望を叶え、東京から都留市へ嫁ぐ。2歳と5歳、小学2年生のお子さんを持つ。



志村 智子 委員
三吉地域在住



中村 義廣 委員長
禾生地域在住



杉田 よし子 副委員長
東桂地域在住

男女共同参画推進委員

杉田委員(以下敬称略) 家庭が一番だからと自然に取り組まれていますが、具体的にはどのような工夫をされているのでしょうか。

亀澤 家庭を持つ職員を採用する際は、極力多方面に居住地域が分散されるような配慮をしています。

職員のお子さんが通っている学校が同じだと、行事が重なってしまうんですね。経営面のことを考えてしまえば、交通費がかさむな...なんていうこともありすが(笑)、学校行事などが分散することで、他の職員にかかる負担も減ります。

そこは双方を守るためにもできる限りの配慮をしているつもりです。

杉田 働く方が多様な地域からいらしていると、それぞれの地域の特徴を吸収した保育環境や情報交換も得られますね。

亀澤 先生たちのたくさんのアイデアが、さらに保育を充実させています。子育てしている人を採用することで、『保育士』であるとともに、『子育て中のお母さん』としての声も反映されることもまた、保育園にとって非常に重要だと思っんです。

職員には保護者の目線で仕事をしてもらうことを大切にしており、また保育士のお休みなどがあっても保育の質に影響が出ないよう、保育士不足と言われる中でも、多めに保育士を配置するようにしています。

※1 山梨県が子育て支援や働きやすい職場づくりのために進めている取組について、県内企業に調査を行った結果他のモデルとなる企業

職場における『おたがいさま』の精神での助け合い

志村委員(以下敬称略) 開地保育園は、多くの職員が常勤として勤めておられますね。亀澤先生を中心とした職場環境改善の地道な努力がこうした結果に結びついていると考えられますが、実際に働いておられる園見さんはどう感じていらっしゃいますか。

園見さん(以下敬称略) 私は、結婚前に保育園で働いていましたが、家庭がおろそかにならないように一度退職を選びました。でもこうして職場に復帰できたのは、職場の環境が良いからなんです。

私は自分の子どもが帰ってくる15時までには家において「おかえり」を言ってあげたいんです。そういった希望も聞いてくれて、職員のみならず『おたがいさま』の精神で助けてくれます。

中村 例えば、早番で15時に帰ることになっていても、周りや仕事のことが気になり「帰りたくても帰れない」というケースをよく耳にしますが、いかがでしょうか。

園見 職場には、いればいるだけ、やればやるだけ仕事はあるんですよね。それを同僚や先輩の皆さんが理解してくれて、「後はみんなやるから大丈夫、帰っていいよ」と言ってくれます。

中村 家庭が一番大事だという理念が職員の皆さんにも浸透しているのでしょうか。そんな環境が職員の定着率の高さに結びついているのかなと思います。

子どもが得るもの、お年寄りが得るもの

志村 私は、放課後子ども教室のコーディネーターとして活動しています。普段の子どもたちとの関わりの中で、3世代世帯で育った子どもが少なくなっていると感じています。

亀澤 3世代世帯で生活している子どもは、うちの園でも少ないのですが、高齢者の方々と接触する機会は大切だと思っております。その念願叶って園の隣でデイサービスの運営をはじめました。

中村歩 子どもがデイサービスに行ってお年寄りの方々と触れ合い、例えば肩を叩いたりするとお年寄りがすごく褒めてくれるんですね。

その経験があつて、子どもが自分の家に帰ってきた時に自分の親やおじいちゃん、おばあちゃんだけでなく、近所のお年寄りにもそういうことをしてあげられるようになってきています。

杉田 とても素晴らしい仕組みですね。お年寄りの方も子どもと触れ合える事をとても喜んでいて聞いております。

亀澤先生は多くの事業を運営しているらっしゃっており、普段の生活の中で仕事に費やす時間が多いと思いが、ご家庭では、奥さまやお子さんとはどのように過ごされていますか。亀澤 本当によく許してくれ、それについてきてくれると思いますね(笑)。



3人の元気なお子さんと中村さん



子育て支援センターで働く園見さん

亀澤 仕事の土台は担当者が行い、その他に手が回らない部分は他の職員が補います。仕事を負担に感じては意味がありません。一番のモットーは、子どもが楽しい、保護者が楽しい保育園はもちろんのこと、保育士にも仕事が楽しいと思ってもらえる職場づくりをすることです。

子育てと仕事がどちらもしっかりできて、心のバランスが取れる環境づくりが大切

志村 中村歩さんは東京から都留にお嫁にいらしたとのことですが、都留で暮らしてみたいかがでしょうか。

中村歩さん(以下敬称略) すごく楽しくて、都留に来てよかったなと思います。ただ、5年前に2人目の子どもが生まれた時は、すぐ行き詰ってしまい、そこで開地保育園の『子育て支援センター』(以下「センター」)に出会いました。センターでは保護者のニーズを感じてくれて、私は毎日のようにセンターに通い、子育て中のママと同じような悩みを話しました。子育ての不安を共有できて、友達も増えました。

亀澤 センターにいらっしゃるお母さんの声でとても大切で、僕は毎日センターに行つて、遊びに来ているお母さんたちと一緒に昼食を食べています。子どもたちが元気に楽しく遊ぶことができ、さらにはお母さんの育児不安などが解消され、またお友達づくりなどができる場所であることがセン

ターの役目だと思います。センターの役割は安心して子育てができる環境の提供、つまり『子育て支援』にあつて、決してうちの園に入ってもらうことが目的で設置しているものではないんです。

中村歩 センターに来ているからといって、この園に入れなければならぬというプレッシャーもないので、ママたちを助けてくれる場所になっています。子育てのストレスを理解して受け入れて吸収してくれる場所があるから、家庭に帰つても夫婦のいい関係ができますね。

中村 そういった環境が女性の社会進出を促進することにつながっていくのではないのでしょうか。お母さんたちが一番困っている時に手を差し伸べてあげることが男女共同参画において大事なことのひとつだと思います。

中村歩 『男女共同参画』と聞くと、男性と同じように女性も働くことを促しているイメージでした。現実には子育てはとて大変な仕事なので、男性と同じというのは難しいです。子育てと仕事どちらももしっかりできて、心のバランスが取れる環境づくりが進めばいいのかなと思います。

※2 市内4カ所の幼稚園・保育園で実施されている子育て支援サービス。センターでは、お子さん連れで遊びながら情報交換や仲間づくりができるほか、子育ての不安や悩みについて相談のことも行うことができます。

の緊急時の病気や親の介護など様々なことが起きると思うので、その時に柔軟に対応してくれるシステムを備えている事業所が市内に多くあれば、働きたいと考えている方が、安心して社会に出られると思います。

また、家庭においては頑張りすぎないことが大切ではないでしょうか。頑張りすぎると家庭がうまく回らないこともあるので、ある程度の息抜きなど、自分自身のコントロールも必要なんだと思います。

亀澤 多方面での環境設定が必要だと思いますが、まず僕が必要だと考えているのは、保育園同士の連携です。幼保小連携の取組はすでにされていますが、開地保育園を卒園する子ども達それぞれの小学校に入学する時、他の保育園の友達とは「はじめまして」になります。

小学校入学以前から交流があれば、入学時の子どもの不安を解消してあげられ、保護者の安心にもつながります。そのためには、行政においても保育園や小学校の所管課に連携していただき、つながりをもって、子どもたちの次なる『ステップ』を、保護者と一緒に応援していただけたらと思います。

中村 男女共同参画を推進していく立場から、大変有意義なお話を伺えました。今後の委員会の活動に生かしていきたいと考えております。ありがとうございました。

妻は僕自身のビジョンを理解してくれた上で、デイサービスの施設長を務めています。家庭に仕事を持ち込むのは：とも思いますが、同じ環境で仕事をしているため、どうしても家庭でも仕事の話は多くなります。意見交換したり、相談をしたり：僕の感覚を共有してくれるからこそ、成り立っているのだと思います。ただ、仕事と私生活とメリハリをつけるよう気を付けているつもりです。また、子どもたちは僕の元気の源なので、いつでもどこでもスキンシップを意識しています。

安心して子育てをして、充実した気持ちで仕事ができる環境のためには

杉田 最後に、社会において女性の活躍が地方を元気にすると言われていますが、安心して子育てができ、充実した気持ちで仕事ができる環境づくりのためには、行政や事業所、家庭においてどんなことが必要だと思いますか。

中村歩 市内の公園など、3世代が集まる場が増えることが大切だと思います。

人が集まり、そこには大人や子どもなど色々な年代の方々が目が日常的にある場所が都留には少ないと思います。そういった場があることにより、子育て中の親や子の心の安定につながり、子どもが生きやすくなり働きやすくなることにつながっていくと思います。

園見 結婚して家族を持つと、子ども



開地保育園でおこなっているデイサービスでの触れ合いの様子

市の子育て施策について

本市では、両親が安心して子どもを
生み育てることのできる環境を整備
し、子どもの笑顔が地域にあふれるま
ちを目指し、マタニティタクシー利用
助成事業やファミリー・サポート・セ
ンター事業など、様々な子育て支援施
策を推進しています。

ここでは、「地域子育て支援セン
ター」について紹介します。

地域子育て支援センター事業について

市内4カ所の幼稚園・保育園で実施
されており、お子さん連れで遊びなが
ら情報交換や仲間づくりができるほ
か、子育ての不安や悩みについて相談
のつてもらうこともできます。ま
た、育児講座なども実施しています。

実施場所	開所時間	連絡先
「こどもの部屋」 ひまわり幼稚園 地域子育て支援センター	9時～14時	(43)4194
「ふれあいくらぶ」 東桂保育園 地域子育て支援センター	10時～15時	(45)3066
開地保育園 子育て支援センター	8時30分～ 13時30分	(43)3647
「たけのこひろば」 長生保育園 地域子育てセンター	9時～14時	(43)9919

■詳細については各実施場所にお問い合わせください。

子育てを応援する市内事業所を 紹介します！

①都留市「子育て応援店」について

キッズスペースの設置やスタンプ
カードのポイントサービスなど、子育
て世帯が利用しやすい設備や取組みを
実施している市内の店舗・施設等を「子
育て応援店」として認定登録していま
す。

登録店一覧

- ネットトヨタ山梨都留店
- トヨタカローラ山梨(株)都留店
- ウエルシア薬局都留田野倉店
- 制服のオビナタ
- Hair select CHARM
- 戸澤歯科医院
- (有)大月自動車
- (株)オキノ都留店

子育て応援店への登録を

お願いします！

市内における若い世代の結婚、出産、
子育ての希望をかなえ、定住人口の増
加を図るため、あなたの事業所を「子
育て応援店」に登録してみませんか。

登録できる事業者

- 市内の店舗などで次に掲げる設備な
どのいずれか一つを有する事業者
- (1)子供の遊び場や子供用待合スペース
- (2)授乳ができるスペース
- (3)ベビーベッドなどのおむつ替えが
できる設備
- (4)ベビーカーのあるトイレ
- (5)子ども用補助便座のあるトイレ

補助対象経費及び補助額

上記の要件を満たすために実施す
る『店舗などの改修か備品の購入等費
用』。

補助額は補助対象事業に要した金額
の2分の1に相当する額で、1店舗上
限30万円。

詳細は健康子育て課にお問い合わせ
ください。

②山梨県「子育て応援・男女いきいき 登録企業」について

男女がともにいきいきと活躍するた
めに、仕事と家庭が両立できる職場環
境づくりに取り組んでいる、または、
取り組もうとしている企業を子育て応
援・男女いきいき宣言企業として登録
しています。

市内登録企業一覧

- (有)トミ美容室
- (株)NBCメッシュネットク山梨都留工場
- パークホンダ販売(株)
- 富士新幸(株)
- (株)OMT
- コニカミノルタ電子(株)
- (有)エルフィン・インターナショナル
- 大和リース(株)山梨都留デポ
- 社会福祉法人長生福祉会長生保育園
- 社会福祉法人真正会開地保育園

ストレスチェック制度をご存知ですか？

平成27年12月に労働安全衛生法の改
正により、従業員が50人以上いる事業
所では、従業員が自分のストレスがど

のような状態にあるのかを調べる検査
が義務づけられました。従業員が自分
のストレスの状態を知ること、事業
所に職場環境の改善をしてもらった
り、『うつ』などのメンタルヘルスにつ
いて不調を未然に防止することができ
ます。

パートナーからの暴力に悩んでいませ んか？

暴力には、殴る、蹴る、髪をひっぱ
るなどの身体への暴力だけでなく、大
声で怒鳴る、交友関係を制限する、生
活費を渡さない、性行為や中絶の強要
など、精神的、経済的、性的な暴力も
含まれます。

このような暴力は、相手の性別や年
齢、国籍を問わず、決して許されるも
のではありません。

あなたを守るために、一人で悩ま
ず、まず相談をしてください。

相談窓口

- 山梨県配偶者暴力相談支援センター
女性相談所
- ☎055(254)8635
- ※年末年始を除く平日9時～20時
- 山梨県立男女共同参画推進センター
ぴゅあ総合
- ☎055(237)7830
- ※第2・4月曜
- ※年末年始を除く毎日9時～17時
- 健康子育て課
- ☎(46)5127
- ※年末年始を除く平日9時～17時